

## 最適な受変電設備をご提案します

■10～20年以上を経過した受変電設備はリニューアルが必要です  
(機器の種類、設置環境により更新推奨時期は異なります)

## 受変電設備リニューアル提案例

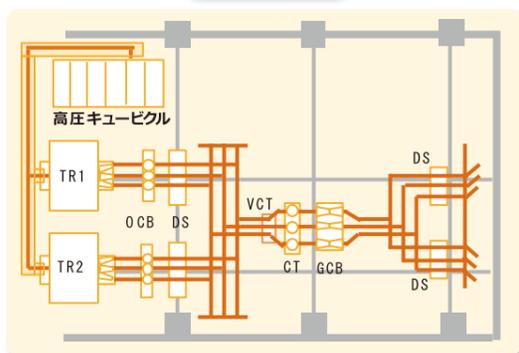
### 既存設備の課題

- 開放型の設備構成で大きな設置スペースが必要である
- 充電部が露出しているので感電の危険性がある
- 飛来物や小動物などの外的要因による地絡事故により、停電発生の可能性がある

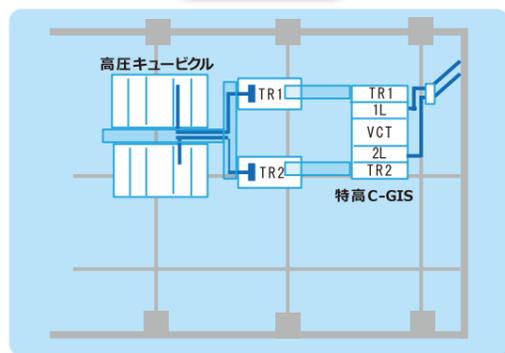
### リニューアルで課題解決

- 省スペース化**
  - 閉鎖型の設備構成で設置スペースを大幅に削減
- 安全性の向上**
  - 充電部が露出しないので安全
- 信頼性の向上**
  - 外的要因による事故発生確率が低くなる

### 改修前

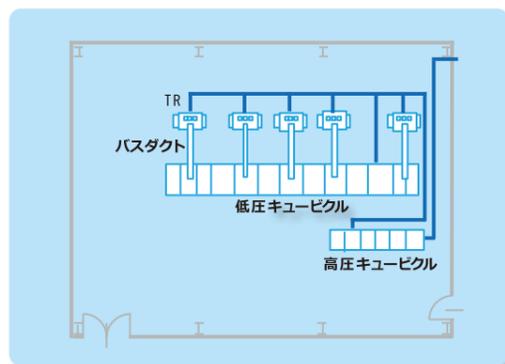
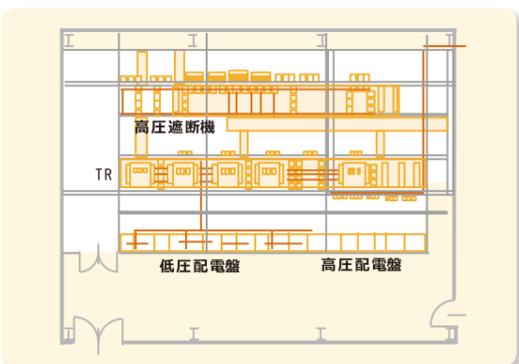


### 改修後

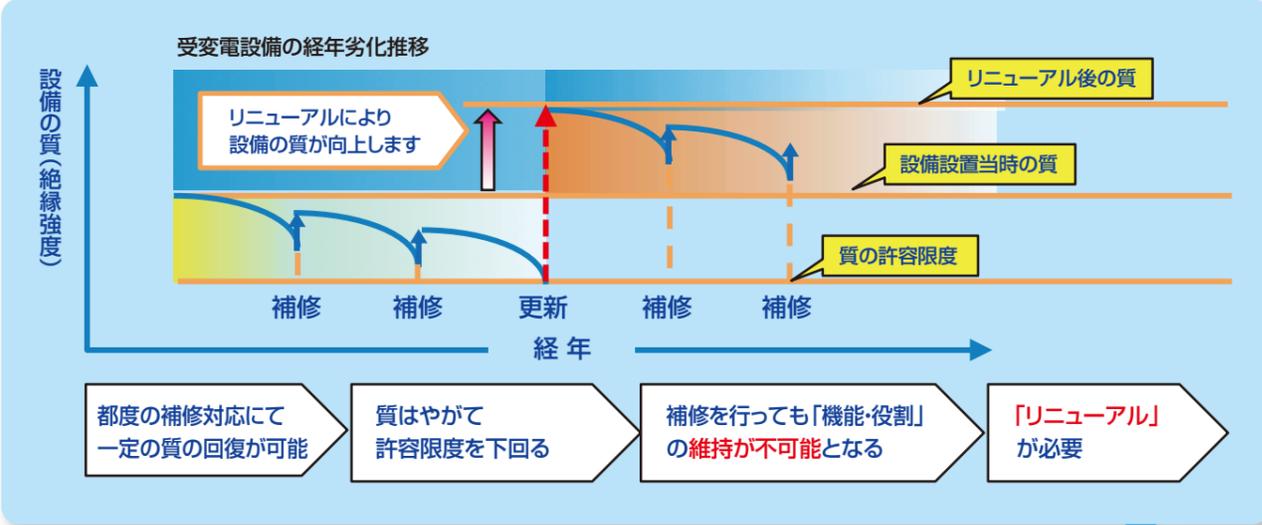


特高受変電設備

高圧受変電設備



## リニューアルの必要性



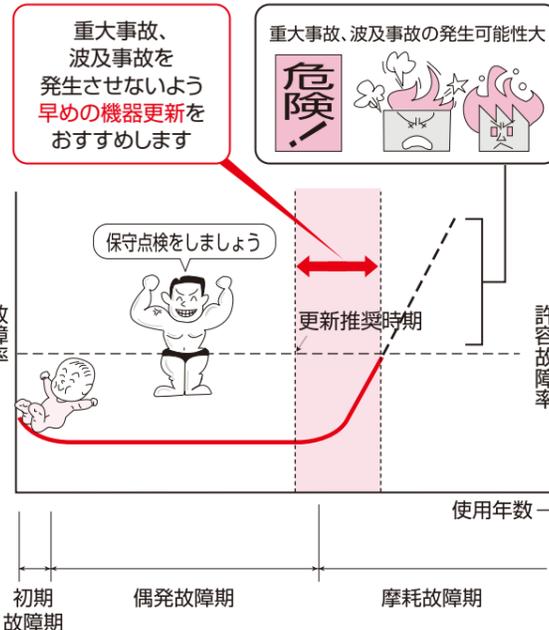
■リニューアルにより「設備の質」を設置当時の状態に戻すだけでなく、最新機器に更新することでより質(絶縁強度)を高めることが期待できます

- 信頼性の向上**
  - ◆ 電源供給の安定化
  - ◆ 不慮の停電事故軽減
- 省力化・省エネ化**
  - ◆ メンテナンスフリー機器の採用
  - ◆ 高効率機器の採用
- 安全性の向上**
  - ◆ 絶縁性の優れた機器を選定
  - ◆ 信頼性の高い機器を採用

### ●受変電設備機器の推奨更新時期

機 種	更 新 推 奨 時 期 (使用開始後)
高圧交流負荷開閉器	屋 内 用 15年 または負荷電流開閉回数200回 屋 外 用 10年 または負荷電流開閉回数200回 GR付き開閉器の制御装置は使用開始後10年
断 路 器	手動操作 20年 または操作回数 1000回 動力操作 20年 または操作回数10000回
避 雷 器	15年
交 流 遮 断 器	20年 または規定開閉回数
計 器 用 変 成 器	15年
保 護 継 電 器	15年
高圧限流ヒューズ	屋 内 用 15年 屋 外 用 10年
高圧交流電磁接触器	15年 または規定開閉回数
高圧進相コンデンサ 直列リアクトル、放電コイル	15年 15年
高圧配電用変圧器	20年

### ●機器の劣化故障パターン



出典:「汎用高圧機器の更新のすすめ」(一社)日本電機工業会